

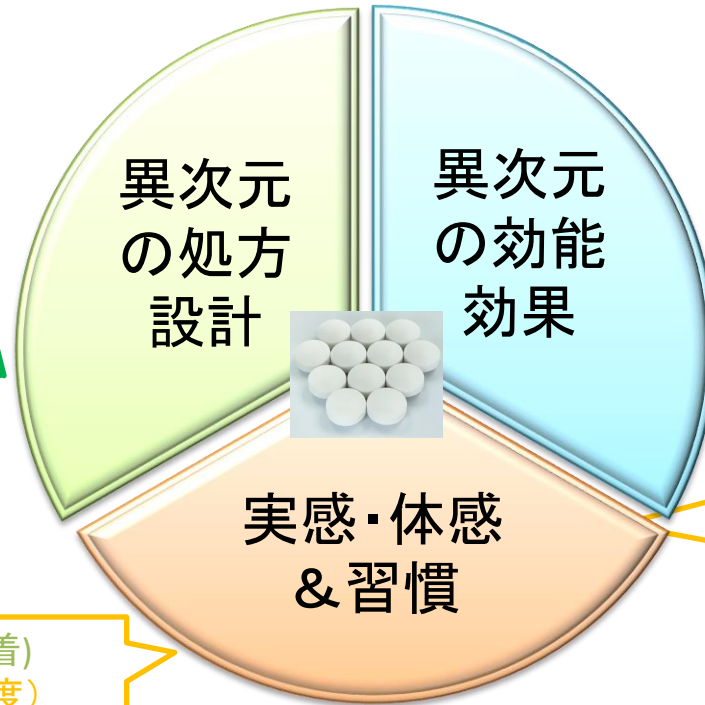
# 指定医薬部外品＝「異次元の処方設計」＋「異次元の効能効果」

## 開発No. 12「システイン、VC、ナイアシンアミドの飲むスキンケア」

元々OTC医薬品として設計・バリデーション実施済の製品。  
有効成分は全て医薬品グレード。  
効能効果や安全性、安定性の他、薬物動態等の長年の基礎研究がベース。

お肌のお悩み解消＋エイジングケアで、効果実感・体感。

Customer Royalty (顧客からの愛着)  
Customer Satisfaction (顧客満足度)  
Customer Engagement (顧客関係深化)



新規承認申請にのみ認められた新規効能効果：

◆肌の不調(肌あれ、肌の乾燥)、○虚弱体質(加齢による身体居辱を含む。)に伴う身体不調の改善・予防、○妊娠授乳期又は産前産後等の栄養補給、○体力、身体抵抗力又は集中力の維持・改善

男性のお悩み(二日酔い)やカゼの季節の受験生のお守り(発熱を伴う消耗性疾患時)、高齢者ケア(疲労の回復・予防)等、幅広い効能効果で新規顧客開拓。



Solution!



Solution!



本稿は社内研修用であり、公的機関・第三者機関のデータに準じたものではないため、有効性・安全性・安定性を保証するものではなく、且つ、医薬品医療機器法、景品表示法その他の法的規制の免除を可能にするものではありません。又、第三社の有する著作権、肖像権、商標・実用新案・特許等の知的財産(産業所有権)に係わる法的諸問題からの免責を保証するものではありません。

This paper is utilized only for private education program and is not permitted with official organization. Nothing herein is to be construed as a warranty or guaranty in respect of safety, efficacy, lawfulness or other relative matters including exemption or freedom from the infringement of intellectual properties such as patent right, trademark, design right, copyright, portrait right arising from the use of information herein.

# 開発No. 12「システイン、VC、ナイアシンアミドの飲むスキンケア」

## 処方設計概念: お肌のお悩み(肌あれ・乾燥)解消+エイジングケア

ナイアシンアミド

- ①メラノソームのケラチノサイトへの輸送を抑制。
- ②肝斑・老人性色素斑・雀卵斑にも有効とされている。  
本品には、生レモン全果(可食部100g)約150個分(ナイアシン当量として)を配合。

- ①ドーパキノン进行ドーパに還元。
- ②酸化型メラニン进行還元型メラニンに変換。  
本品には、生レモン全果(可食部100g)約5個分を配合。

VC

- ①ユーメラニン(黒色メラニン)の抑制。
- ②肌ターンオーバー正常化。
- ③活性酸素の除去。

システイン

肌の刺激要因\*9、\*10(お酒やタバコからのアセトアルデヒド)を、無毒化。

ミトコンドリアで脂質をβ酸化し、エネルギーに変換する際に必須。  
酸化されたグルタチオンを還元する際にも必須。  
本品には、生レモン全果(可食部100g)約98.2個分(リボフラビンとして)を配合。

VB2

- ④アルコール脱水素酵素の活性化\*1とアセトアルデヒド脱水素酵素の活性化\*2。
- ⑤飲酒後のエタノールとアセトアルデヒドの血中・脳内・肝臓内レベルを低減\*3。
- ⑥飲酒後の胃液中のアセトアルデヒドを無害な2-メチルチアゾリジン-4-カルボン酸に変換し、低減\*4。  
ALDH2欠損被験者でも同一効果\*5。
- ⑦飲酒後の唾液中のアセトアルデヒドを低減\*6。
- ⑧5~10mgで、喫煙後のアセトアルデヒドを完全消去\*7。
- ⑨アセトアルデヒドによる二日酔い、吐き気、頭痛、ストレス、不安を予防または軽減\*8。

\*1: Buhner M. and Sund H. *European J. Biochem.* 11 (1969) 73 - 79. \*2: Tigerstrom R. G. V., and Razzell W.. E. *The J. of Biol. Chem.* Vol. 243, No. 10, pp. 2691 - 2702 (1968)  
\*3: Tsukamoto S. et al. *Arukoru Kenkyuto Yakubutsu Ison.* 1990, 25, 429-440. \*4: Hellstrom PM. et al. *Gastroenterology* (2014). \*5: Salaspuro M. et al. *PLoS One* 2015 10(4).  
\*6: Salaspuro V. et al. *Int J Cancer* (2002) 97, 361 - 364. \*7: Salaspuro V. et al. *Cancer Epid Biomark Prev.* 2006,15, 146-149. \*8: Erikson C. J. P. et al. *Alcohol and Alcoholism*, 2020, 55(6) 660-666  
\*9: Hazard Assesment Report Acetaldehyde (75-07-0)【Chemicals Evaluation and Research Institute (CERI), Japan】  
\*10: Hazard Summary Acetaldehyde (75-07-0)【US Enviromental Protection Agency. Created in Apr. 1992, Updated in Jan. 2000】